

## 2019年度日本数学会賞建部賢弘賞受賞者の横顔

2019年度の日本数学会賞建部賢弘賞の授賞式は、2019年度秋季総合分科会の際の9月18日（水）15時10分より、金沢大学にて行われました。

受賞者については、「数学通信」第24巻3号の会報175でお知らせいたしました。建部賢弘賞は1999年度より特別賞、奨励賞の2部門となりました。受賞者の方々の紹介として、ご本人からプロフィールを数行書いて頂き、写真と共に掲載しています。

（五十音順、敬称略、所属は受賞時点のものです。）

### 特別賞

大川新之介（阪大理准教授）

業績の題目：非可換代数幾何学の研究

沢山の方に様々な形でお世話になりながら、数学を続けてきました。この機会をお借りして深く感謝致します。代数幾何学とその周辺に興味を持ってこれまで研究をしてきました。最近は主に、接続層の導来圏に代表される（enhanceされた）三角圏と従来の代数幾何学の関わりに興味を持って色々と研究しています。

高棹圭介（京大理／白眉センター特定准教授）

業績の題目：体積保存平均曲率流の弱解の研究

この度は名誉ある特別賞を賜り、心より御礼申し上げます。これもひとえに、ご指導いただきました先生方のお力添えのおかげと、深く感謝しております。曲面の運動方程式について、性質の良いフェイズフィールド法を見つけ解の存在を示すといった研究をしています。今回の受賞を励みとし、より一層研究に励みたいと思います。

早野健太（慶大理工専任講師）

業績の題目：曲面の写像類群による4次元多様体上の可微分写像の研究

安定写像やレフシェッツ束などの多様体上の可微分写像を、曲面の写像類群の理論を援用して研究しております。また特異点論の多目的最適化への応用にも興味を持っております。この度は栄誉ある賞をいただき大変光栄です。この場をお借りして、日頃お世話になっている方々にお礼申し上げます。

久本智之（名大多元数理助教）

業績の題目：偏極多様体の安定性、および特殊ケーラー計量の存在に関する研究

複素幾何に興味があり、特に代数多様体の標準計量に関する研究をしています。身に余る賞をいただき大変恐縮です。これまでお世話になった方々にこの場をお借りして深く感謝申し上げます。皆様のご厚意を励みに今後一層精進していけたらと思います。

## 奨励賞

大井雅雄（京大理学振 PD）

業績の題目：古典群の局所 Langlands 対応の明示的記述および深度保存則

この度はこのような身に余る賞をいただき大変恐縮です。私は整数論における局所 Langlands 予想というものに取り組んでおります。先生方をはじめとする多くの方たちの助けのおかげで、なんとか研究をできていると思っております。この素晴らしい賞の名に恥じぬよう、今後気を引き締めて頑張っていく所存です。

鈴木悠平（名大多元数理助教）

業績の題目：位相力学系に由来する作用素環の研究

従順作用というものを基軸に  $C^*$ 環を研究しています。これはそれなりに古く由緒ある概念ですが、さいわい手つかずのまま残されていた側面を見つける事がたまにあり、仕事を続けることができました。お世話になった（なっている）先生や仲間たちと、素晴らしい研究環境を与えて頂いた多元数理の皆様へ感謝いたします。

舘山翔太（早大理工研究補助者／東大数理特任研究員）

業績の題目：完全非線形偏微分方程式の  $L^p$ -粘性解の定性的性質の研究

完全非線形放物型偏微分方程式を中心に  $L^p$ -粘性解の正則性、一意性等の粘性解理論の研究を行っています。今回の受賞を励みに、今後より一層研究に精進して参ります。これまでお世話になったすべての方々、特に、これまで御指導して下さった小池茂昭先生に厚く御礼申し上げます。

鶴見裕之（早大理工博士後期課程）

業績の題目：Navier-Stokes 方程式の Besov 空間における適切・非適切性

この度は身に余る賞を賜り、大変光栄に存じます。各所の先生方、事務室の皆様、友人や家族などの多くの支えがあってこそ、私は楽しく研究を続けられているのだと日頃より実感しております。この場をお借りしまして深く感謝を申し上げますとともに、これからもご指導とご鞭撻のほど、何卒よろしくお願いいたします。

橋詰健太（東大数理学振 PD）

業績の題目：極小モデル理論への新しいアプローチ

この度は素晴らしい賞を頂き大変光栄に思います。標数 0 の極小モデル理論について主に研究しており、悪い特異点を持つ多様体にも興味があります。これからも少しでも数学の発展に貢献できるように研究を続けたいと思います。この場をお借りして、日頃からお世話になっている方々に厚く御礼申し上げます。